

目次

岷江入楚

四十三	句兵部卿宮	3
四十四	紅梅	20
四十五	竹川	37
四十六	橋姬	80
四十七	椎本	113
四十八	角総	151
四十九	早蕨	222
五十	寄生	242
五十一	東屋	324
五十二	浮舟	385
五十三	蜻蛉	448
五十四	手習	503
五十五	夢浮橋	555
解題		577

岷江入楚 (外題)
四十三 ナシ(九)
匂兵部卿宮 匂宮(九)

匂兵部卿宮 私此卷より以薰君年立也

十四歳 四位侍従 匂宮十五歳

光隠後御方々御処分事

三宮御元服後号兵部卿宮事

夕霧右大臣奉渡一条宮於花散里良町事

一条宮与三条殿毎月十五日通住給事

薰君為冷泉院御猶子於院元服事

今年二月任侍従事

十五歳

十六歳 秋任右近中将又任宰相

秋源侍従任右近中将事

秋は秋の除目に任中将也
のとしの秋にはあらざるへじ

院御給加階事

源中将冷泉院中設曹司事

母女三宮修念仏御行事

源中将疑吾身非六条院御子歟事 (之事九)
源中将有異香事

匂兵部卿宮愛花香給事

十七歳

十八歳

十九歳 秋任中納言

薰宰相中将叙三位事

此卷詞云十九になり給とし三位の宰相にて猶中将も

はなれ給はずと云々 給ふ(九) 此心は宰相中将にて此ほとあ

りしか三位になり侍れと宰相も中将も猶もとのこと

くのよし也 宰相の(九) そのゆへは宰相は四位の相当の官なる

ゆへ也 宰相中将といはれし事は橋姫の巻のはしめ

にみえたり

匂宮思念院女一宮給事

薰中将參三条宮給事

夕霧右大臣以藤内侍腹六君為一条宮養子事

於六条院被行賭弓還餐事 之(九) 东時夕霧右大臣兼左大将